

2. 生活環境

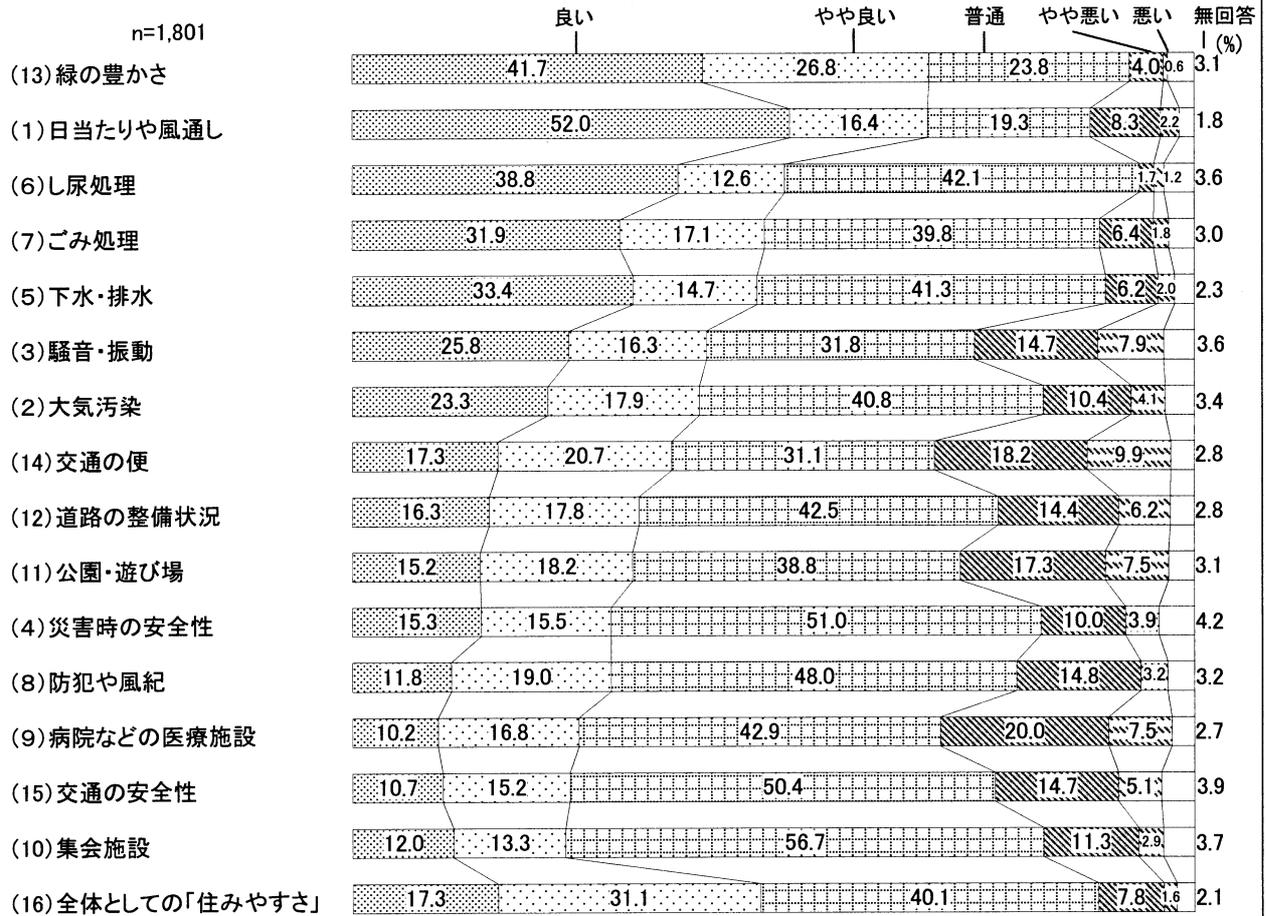
2-1 生活環境の評価

◇「緑の豊かさ」と「日当たりや風通し」の2項目の評価が高い

問2 あなたは、周囲の生活環境について日頃どのように感じていますか。

(1)～(16)の各項目それぞれについてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

図2-1-1



※【(16) 全体としての「住みやすさ」】を除き、「良い」と「やや良い」の合算で比率の高い順に並べた

周囲の生活環境について聞いたところ、「(1)日当たりや風通し」について「良い」が5割強(52.0%)と最も高く、「やや良い」(16.4%)と合わせた『良い』は7割弱(68.4%)となっている。一方、「(14)交通の便」と「(9)病院などの医療施設」では、「やや悪い」と「悪い」を合わせた『悪い』が3割弱と他の項目に比べて高くなっている。(図2-1-1)

■評価順位

生活環境を15の項目に分け、それぞれの評価を聞いた。

「良い」と「やや良い」の合計を【良い】とし、「やや悪い」と「悪い」の合計を【悪い】とみなした場合の、それぞれ上位5項目をあげると次のようになっている。(図2-1-1)

【良 い】		【悪 い】	
①緑の豊かさ	(68.5%)	①交通の便	(28.1%)
②日当たりや風通し	(68.4%)	②病院などの医療施設	(27.5%)
③し尿処理	(51.4%)	③公園・遊び場	(24.8%)
④ごみ処理	(49.0%)	④騒音・振動	(22.6%)
⑤下水・排水	(48.1%)	⑤道路の整備状況	(20.6%)

なお、【(16) 全体としての「住みやすさ」】は、【良い】(48.4%)が半数近く、【悪い】(9.4%)が約1割となり、【良い】が【悪い】よりも39.0ポイント高くなっている。

加重平均値(満足度)

生活環境の評価を比率でみるのとは別に、その比較をより明確にするために、加重平均値による数量化を行った。これは、下記の計算式にあるように、数段階の評価に点数を与え、評価点を算出する方法である。

$$\text{評価点} = (\text{「良い」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「やや良い」の回答者数} \times 4 \text{点} + \text{「普通」の回答者数} \times 3 \text{点} + \text{「やや悪い」の回答者数} \times 2 \text{点} + \text{「悪い」の回答者数} \times 1 \text{点}) \div \text{回答者数}$$

この計算方法では、評価点は5.00点～1.00点の間に分布し、中間点の3.00点を境に、5.00点に近くなるほど満足度は高くなり、逆に1.00点に近くなるほど不満足度が高くなる。

■満足度順位

以上の算出方法による評価点の高いものと、低いものの上位5項目は次のようになっている。

(図2-1-2)

【上 位】		【下 位】	
①日当たりや風通し	(4.02点)	①病院などの医療施設	(2.94点)
②緑の豊かさ	(3.96点)	②交通の安全性	(3.00点)
③し尿処理	(3.75点)	③公園・遊び場	(3.07点)
④下水・排水	(3.64点)	④集会施設	(3.09点)
⑤ごみ処理	(3.62点)	④交通の便	(3.09点)

図 2-1-2 生活環境の評価点

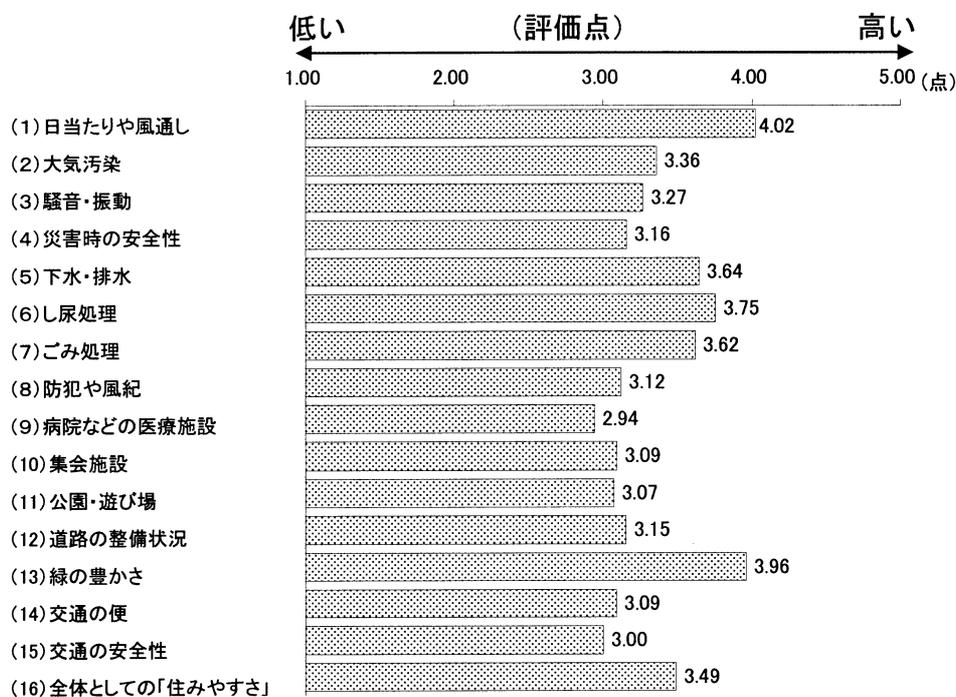


表 2-1-1 生活環境の評価点（加重平均）－居住地域別

	全 体	居住地域					
		本 庁 管 内 （ 中 央 地 域 ）	元 八 王 子 ・ 恩 方 ・ 川 口 （ 西 部 地 域 ）	浅 川 ・ 横 山 ・ 館 （ 西 南 部 地 域 ）	加 住 ・ 石 川 （ 北 部 地 域 ）	由 井 ・ 北 野 （ 東 南 部 地 域 ）	由 木 ・ 由 木 東 ・ 南 大 沢 （ 東 部 地 域 ）
(1) 日当たりや風通し	4.02	3.83	3.99	4.01	4.01	4.05	4.28
(2) 大気汚染	3.36	3.04	3.46	3.42	3.07	3.41	3.64
(3) 騒音・振動	3.27	2.90	3.44	3.40	2.83	3.37	3.46
(4) 災害時の安全性	3.16	2.94	3.14	3.08	3.24	3.26	3.40
(5) 下水・排水	3.64	3.59	3.49	3.62	3.41	3.77	3.91
(6) し尿処理	3.75	3.71	3.66	3.74	3.58	3.89	3.93
(7) ごみ処理	3.62	3.57	3.59	3.62	3.38	3.75	3.76
(8) 防犯や風紀	3.12	3.06	3.20	3.09	3.00	3.18	3.14
(9) 病院などの医療施設	2.94	3.15	2.58	3.11	2.85	3.05	2.84
(10) 集会施設	3.09	3.12	3.12	3.07	2.90	3.04	3.21
(11) 公園・遊び場	3.07	3.00	2.86	3.09	2.61	3.16	3.56
(12) 道路の整備状況	3.15	3.06	2.76	3.11	2.87	3.29	3.75
(13) 緑の豊かさ	3.96	3.51	4.04	4.01	3.82	4.07	4.32
(14) 交通の便	3.09	3.41	2.43	3.32	2.63	3.26	3.27
(15) 交通の安全性	3.00	2.86	2.70	3.07	2.71	3.17	3.42
(16) 全体としての「住みやすさ」	3.49	3.40	3.30	3.55	3.27	3.60	3.72

■ は項目内での最高値

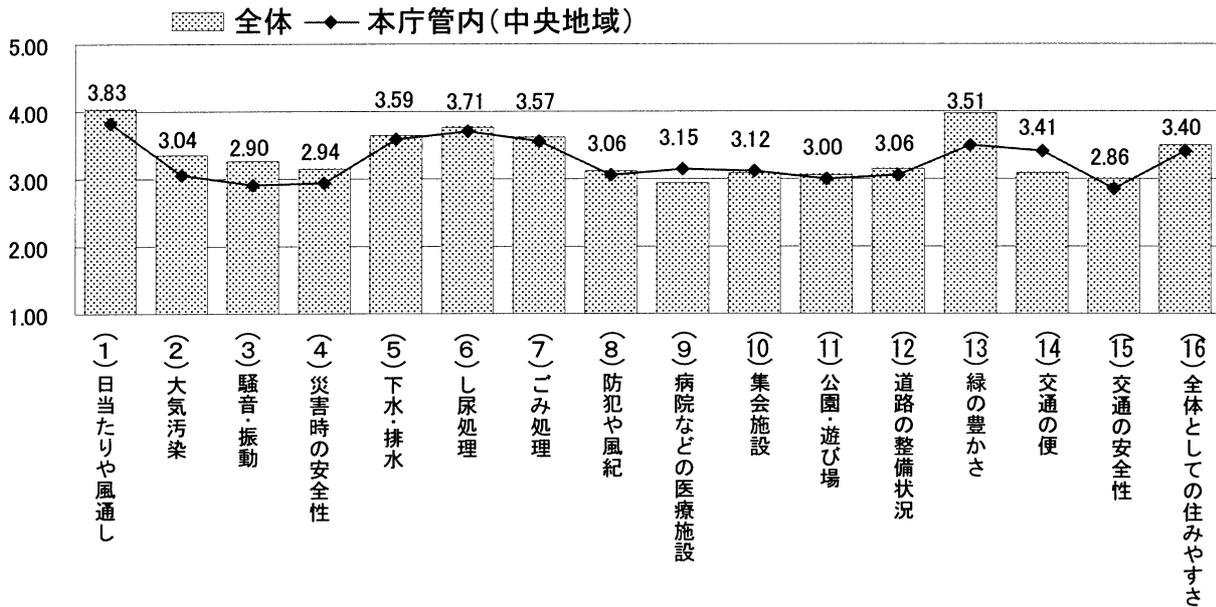
■ は項目内での最低値

次に、16項目の評価の加重平均値を居住地域ごとに、市全体と対比させてグラフを表示する。

【本庁管内（中央地域）】

市全体より上回っているのは、16項目中3項目で、最も差が大きいのは、「交通の便」(+0.32ポイント)となっている。下回っているのは13項目で、最も差が大きいのは、「緑の豊かさ」(-0.45ポイント)で、他に差が大きいのは、「騒音・振動」(-0.37ポイント)、「大気汚染」(-0.32ポイント)となっている。(図2-1-3)

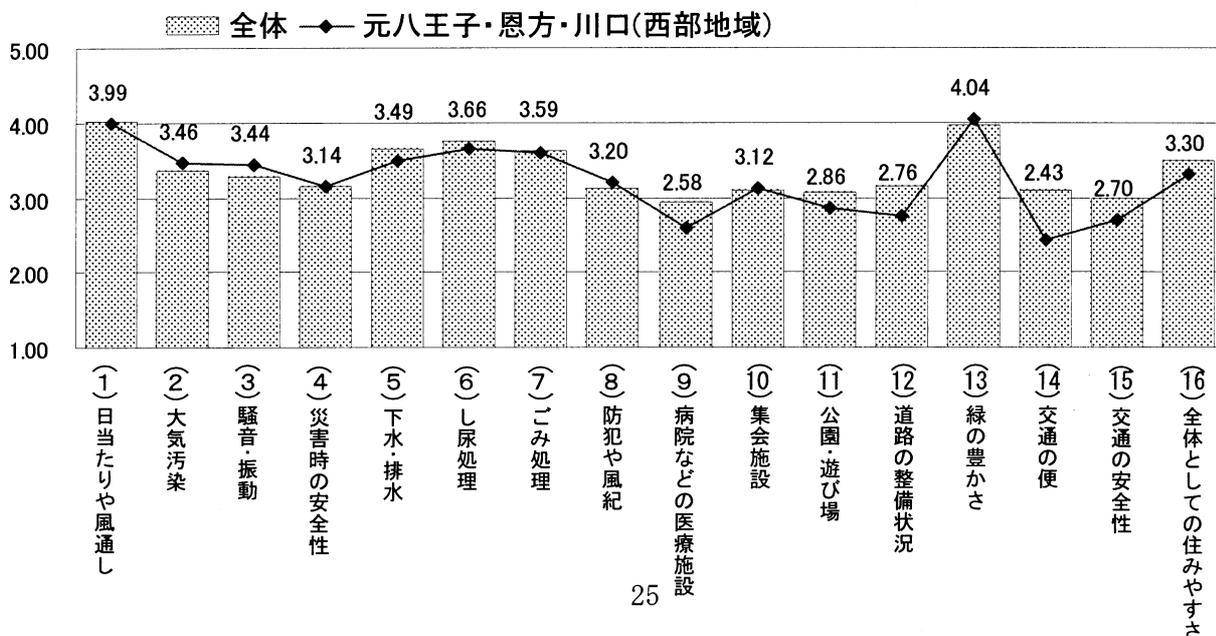
図2-1-3 生活環境の評価（加重平均）—居住地域別「本庁管内（中央地域）」



【元八王子・恩方・川口（西部地域）】

市全体より上回っているのは、16項目中5項目で、最も差が大きいのは、「騒音・振動」(+0.17ポイント)となっている。下回っているのは11項目で、最も差が大きいのは「交通の便」(-0.66ポイント)で、他に差が大きいのは、「道路の整備状況」(-0.39ポイント)、「病院などの医療施設」(-0.36ポイント)となっている。(図2-1-4)

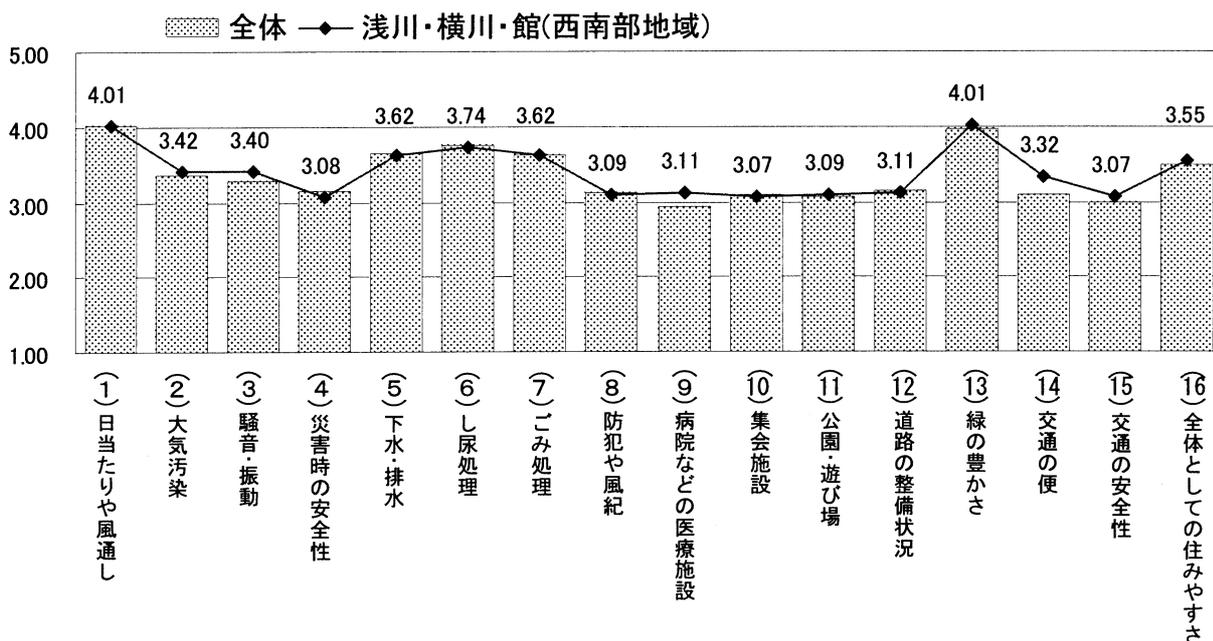
図2-1-4 生活環境の評価（加重平均）—居住地域別「元八王子・恩方・川口（西部地域）」



【浅川・横山・館（西南部地域）】

市全体より上回っているのは、16項目中9項目で、最も差が大きいのは「交通の便」(+0.23ポイント)で、他に差が大きいのは「病院などの医療施設」(+0.17ポイント)となっている。下回っているのは7項目で、最も差が大きいのは、「災害時の安全性」(-0.08ポイント)となっている。(図2-1-5)

図2-1-5 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「浅川・横山・館（西南部地域）」

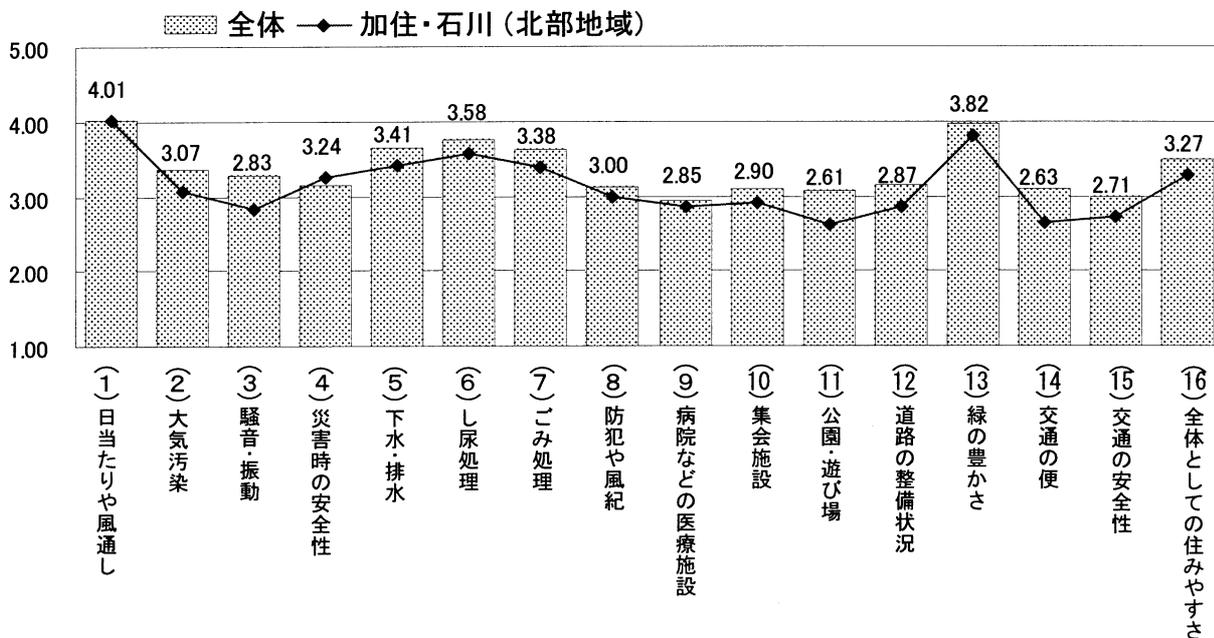


【加住・石川（北部地域）】

市全体より上回っている項目は、「災害時の安全性」(+0.08ポイント)となっている。下回っているのは15項目で、最も差が大きいのは「公園・遊び場」(-0.46ポイント)、「交通の便」(-0.46ポイント)で、他に差が大きいのは、「騒音・振動」(-0.44ポイント)となっている。

(図2-1-6)

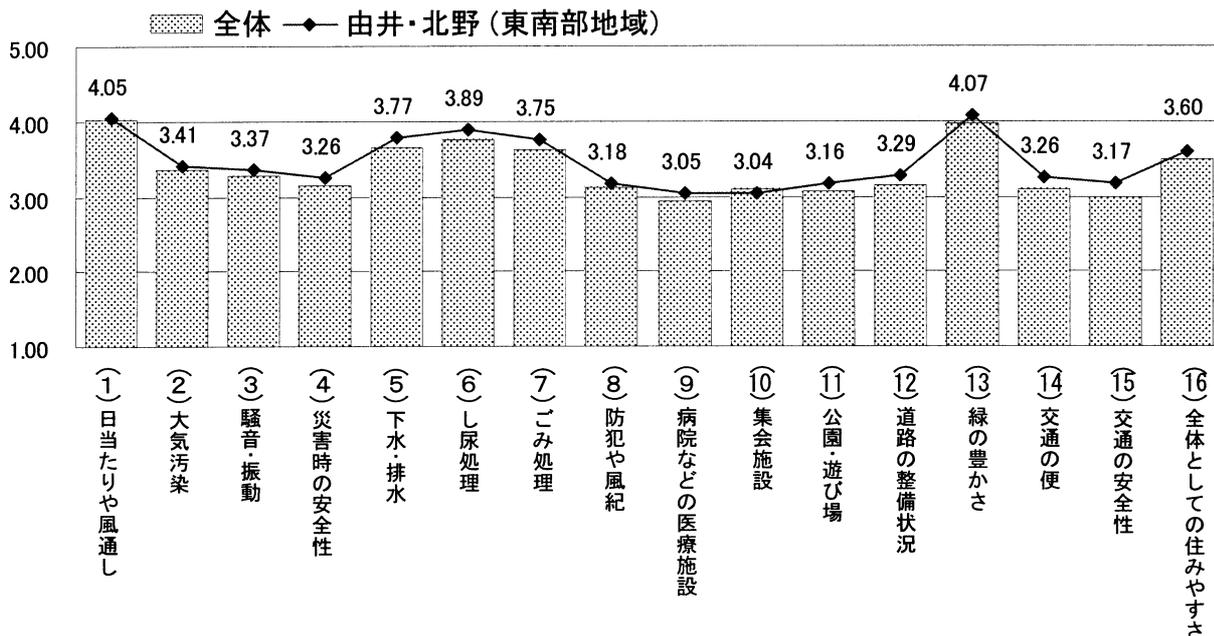
図2-1-6 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「加住・石川（北部地域）」



【由井・北野（東南部地域）】

市全体より上回っているのは、16項目中15項目、下回っているのは「集会施設」の1項目で、いずれも差が大きくなっている項目はみられない。（図2-1-7）

図2-1-7 生活環境の評価（加重平均）－居住地地域別「由井・北野（東南部地域）」



【由木・由木東・南大沢（東部地域）】

市全体より上回っているのは、16項目中15項目で、最も差が大きいのは「道路の整備状況」（+0.60ポイント）で、他に差が大きいのは、「公園・遊び場」（+0.49ポイント）、「交通の安全性」（+0.42ポイント）、「緑の豊かさ」（+0.37ポイント）となっている。下回っているのは、「病院などの医療施設」（-0.10ポイント）となっている。（図2-1-8）

図2-1-8 生活環境の評価（加重平均）－居住地地域別「由木・由木東・南大沢（東部地域）」

